

令和8年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター報告書

- 1 日 時 : 令和8年8月6日(木)~8月7日(金)
- 2 場 所 : 日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター
- 3 出席者 : ・加盟校メンバー53名
(中学生11名、高校生42名)
・指導者17名
・赤十字奉仕団12名
【計82名】



4 内 容 :

8月6日~7日、1泊2日で、日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センターにて、令和8年度兵庫県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（以下「トレセン」という）を開催しました。

県下の青少年赤十字加盟校から中学生11名、高校生42名、指導者17名、赤十字奉仕団12名が参加しました。

トレセンでは、学校や学年が異なる青少年赤十字メンバーが共に行動し、参加者の自主性を引き出すため、各自の自発性に基づく「ボランタリーサービス方式」を取り入れています。

1日目は、「国際理解」についてワークシートや「ななならべ」を用いてグループで学びました。また、赤十字奉仕団による「YABC」プログラムでは、オレンジや水を用いたワークを通じて、協調的な交渉について学んだほか、救急法講習も受講し、三角巾の使い方や一次救命処置を習得しました。

2日目は、「災害バッグの内容を考えよう」をテーマとしたグループワークの発表を行ったほか、救急法競技大会やフィールドワークを実施しました。

参加者からは、「普段の自分では信じられないほど積極的にリーダーシップを発揮でき、自信がついた」「様々な学校の人と交流でき、新しい発見がたくさんあって楽しかった」「成長を実感できた」「自分の意見を発信するだけでなく、相手の意見に耳を傾ける重要性が分かった」などの感想が寄せられました。

